



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

ガバナー月信

GOVERNOR'S

R.I. 第2760地区

MONTHLY LETTER 2011-2012



トヨタ美術館(豊田市) 画 石原ミチオ

ガバナーメッセージ	2
世界インタラクティブ週間によせて	3
ロータリー財団月間によせて	
地区ロータリー財団委員長 深谷友尋	4
資金推進委員長 朱宮新治	5
補助金委員長 松尾憲二郎	5
職業研修チーム委員長 鈴木文勝	5
奨学基金・学友委員長 満田 稔	6
ポリオプラス委員長 増田盛英	6
ロータリー平和フェロシシップ委員長 石川昌和	6
ガバナー公式訪問報告	7

おしらせ	
第1回環境保全委員長会議報告	9
クラブ米山奨学委員長会議・米山奨学生・学友会総会	
2011~2012指導教員を囲む会報告	10
ロータリー・リーダーシップ研究会 日本支部参加報告とご協力のお願い	10
広告	12
文庫通信 289号	14
ハイライトよねやま 139 紹介	14
会員数及び出席報告(平成23年9月末)	15

2011年11月 1日発行

11月

ロータリー財団月間

ガバナーメッセージ

ロータリー財団月間によせて

2011年～2012年度RI第2760地区

まつ まえ けん すけ
ガバナー 松 前 憲 典



ロータリー財団と目標

非営利財団法人で、貧しい人々や有意義なプロジェクトに対し、世界各地で人道主義に裏付けられた補助金を支給し、奨学生や教員、実業人及び専門職業人の国際交流に教育補助金を支給しています。

この財団の目標は、人道的、教育的、文化交流プログラムに補助金を授与することによって、世界の人々の間に理解と友好関係を増進するものです。

「ロータリー財団の未来の夢計画」

2017年にロータリー財団の設立100周年を迎えることを踏まえ、管理委員会は世界の最も差し迫ったニーズに対して、迅速効果的かつ戦略的に応えられる活力あふれ、未来ビジョンを備えた財団を築き上げるための計画を立案しました。

その目標は、補助金手続きを簡素化し、大きな成果、その長期的な持続が望めるプロジェクトにより多くのリソースを費やし、財団の業績に対する一般の人々の認識を高めることです。

未来の夢計画に基づく新補助金制度(New Grant based on Future Vision Plan)

プロジェクトチーム会議

RI理事会は2008年6月の会合で、ロータリー財団の未来の夢計画を承認しました。

この計画の実施は2010年7月から始まっています。3年間の試験的期間中、上限100までの地区がパイロット地区に選ばれ、新補助金プログラムに参加します。残りの地区は既存のプログラムをそのまま利用し、2013-14年度から新補助金へ移行します。

日本では以下の6パイロット地区が決定しております。

- ①第2580地区(東京、沖縄)
- ②第2650地区(福井、滋賀、京都、奈良)
- ③第2690地区(鳥根、鳥取、岡山)
- ④第2760地区(愛知)
- ⑤第2770地区(埼玉南東部)
- ⑥第2830地区(青森)

地区財団委員会からの地区内各ロータリークラブへの要請

1. 地区内各RCの寄付金目標達成
 - ①毎年あなたも100ドルを(年次基金)モットー周知
 - ②クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の委員交流を深め、ロータリー財団をPRする。
 - ③各クラブの財団委員会全員でクラブ計画の目標
 - ④各クラブ一人以上のベネファクターの援助を努める。
2. 新地区補助金、グローバル補助金を活用する。
3. 奨学生の国内外への援助
4. 職業研修チーム(VTT)の受け入れ、派遣の支援。
5. ポリオ撲滅キャンペーンへの積極的協力と参加。
6. その他必要と思われる活動への支援。



地区財団委員会活動報告〈深谷友尋ロータリー財団委員会委員長から〉

ロータリー財団創設第二世紀に向けて財団のプログラムが大きく変更になりました。

新しい制度は「Future Vision Plan・未来の夢計画です。

全世界531地区より100地区が試験段階に入り、2013年7月より全世界全地区が新制度へ移行します。その重要な試験プログラムを今年も確実に実行して、新たなロータリー財団活動への指針になればと願っております。

ロータリー財団は意思決定権を更に地区に移行することによって、地区とクラブにおいてロータリー財団が自分達のものであるという自覚を高めることが大切です。

本年度の地区財団委員会は、補助金委員会を中心に新地区補助金を使用した地区内63クラブの活動資金と奨学生1名(イギリスへ)の派遣を行い、総額168,150ドルを新地区補助金として執行いたしました。

またグローバル補助金を使った地区内クラブは、名古屋瑞穂ロータリークラブがウガンダ共和国・小学校校舎改修へ約4万米ドル、名古屋大須ロータリークラブがチェンマイへ水保全、識字率の支援として約2万5千米ドル、更に地区世界社会奉仕委員会よりラオス、看護師の教育の為に学校校舎改修として1万5千米ドルを支援します。グローバル補助金委員会を中心に目下申請中であります。

ポリオプラス委員会は本年度もインド・ポリオワクチン投与活動の予定と報告を受けております。ロータリアンの多くの皆様の参加を願うものであります。

次に今年度の職業研修チームは9600地区(オーストラリア サウスイースト クイーンズランド他)と医療研修チームの派遣・受け入れを行います。地区内医療関係各位には多大なるご支援とご協力を頂いております事に感謝申し上げます。

奨学基金・学友委員会・ロータリー平和フェロウシップ委員会は教育的プログラムを高める重要な委員会でありますので、各クラブからご推薦をお願い致します。

地区ロータリー財団がこのような奉仕活動が行えるのも、支援の源である地区内ロータリアンの温かい善意による年次寄付・恒久基金・大口寄付等によるものであります。改めて感謝申し上げます。

資金推進委員会を中心にした活動に今後ともご協力をお願い申し上げます。

世界インターアクト週間によせて

世界中のロータリークラブとインターアクトクラブに、国際規模の顕著な共通活動に参加してもらうことを目的に、11月5日を含む1週間(月曜日～日曜日)を「**世界インターアクト週間**」としています。

さて地区内15インターアクトクラブの活動については、9月号本誌でご報告の第22回インターアクトクラブ年次大会における交流で共有化がはかられていることと思いますので、ここでは海外派遣研修について簡単に紹介させていただきたいと思っております。

本年度(第24回)派遣研修への参加推薦を受けた生徒25名は、5月中旬の保護者説明会に始まり6月・7月に1泊2日の研修を2回受け、4泊6日(7月27日～8月1日)のハワイホノルル派遣研修を催行いたしました。今回の研修ではホームステイをしながらハワイの大学生の生活を見学したり、現地インターアクトクラブと交流したりと様々な交流プログラムに参加することができ、参加生徒たちは世界規模で奉仕(サービス)と友情(フレンドシップ)の輪を広げ、国際理解を深めることができたものと思っております。引率をお務めいただいた石井恭二先生(修文女子)、川添洋一郎先生(愛知啓成)、谷本信子先生(岡崎学園)をはじめ関係各位には心より感謝申し上げます。

なお現地での様子については、9月号3ページ・11ページをご高覧いただきますようお願い申し上げます。



ロータリー財団月間によせて

試験段階「未来の夢計画・Future Vision Plan」
2年目を迎えました
「毎年あなたも100ドルを」
「Every Rotarian Every Year」

地区ロータリー財団委員長 **深谷友尋**

ロータリー財団は、アーチ・クラフ氏の提唱「世界でよいことをしよう」[Doing good in the world]で1917年に発足しました。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

「世界でよいことをしよう」というのは単なるスローガンではありません。財団の目標であり、使命であり、私たちを原点へと立ち返らせる言葉です。この標語は、財団の存在意義を分かりやすく表現しています。また、私たちが持っているすべてを活かし、最大限のよいことをしていくために必要なガッツを引き出ししてくれるのです。私たちがロータリーを通じてよいことができるよう、支援してくれるのが財団です。ロータリアンの奉仕を広げ、力を高め、活動をよりパワフルで効果的なものにしていくのです。一言で言えば、財団があるからこそロータリーのさらなる活動が可能になるのです。」 - 2004-05年度RI会長、グレンE. エステス・シニア 氏

ポリオ「エチオピアで幼い子どもにポリオワクチンを投与した経験が、私の人生を大きく変えました。くったくなく遊ぶ子どもたちを眺めながら、この子どもたちの未来が明るいものになるとは限らないが、少なくともポリオのない人生を送ることができるのだと私は思いました。人々に希望をもたらすロータリーの活動に終わりはありません」 - 元地区ガバナー、ジョン・ジェイコブ・ザッカー

ロータリー財団は奉仕活動と資金調達の両輪です。

私達のロータリー財団が地域社会や国際社会への実践活動をさらに強固にしていくためには奉仕の充実と資金面の確保が大切になります。

RI理事会は2008年6月会議でロータリー財団の未来の夢計画を承認しました。

社会やロータリー活動の変化のニーズに応じていくことができるプログラムに変更しました。

新プログラムは、DDF(地区財団活動資金)

- ① ロータリー財団新地区補助金(Rotary Foundation District Grants)
- ② ロータリー財団グローバル補助金(Rotary Foundation Global Grants)

2つのプログラムに変更されました。

① 新地区補助金は

地元地域社会でも海外でも使え、ロータリーのない国でも事業が可能になりました。

今年度は82クラブ中64クラブから補助金申請が有り、全体の78%のクラブが参加したことになります。

② グローバル補助金は、6つの重点分野を実施します。

この補助金は、より専門職の強い活動プログラムに変更され、ロータリアンの職業を通して専門性が必要になります。

平和と紛争予防・紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生設備、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展の重点6分野です。

またポリオ撲滅のための支援活動(ワクチンの投与・医師の派遣等)など地球規模で実践して必要性を問われています。一昨年度メリнда・アンド・ゲーツ財団より2億ドルのチャレンジプログラムを開始しました。

当地区グローバル補助金の申請は地区内2クラブと国際社会奉仕委員会より申請中です。

世界平和フェローシップは世界問題、紛争解決の為の国際的研究など優れた教育的プログラムを8ヶ国の大学にロータリーセンターを設けております。

尚、本年度東日本に発生致しました大震災への支援活動は、今後ガバナーを中心に支援活動を探り、今後の協議に委ねることになります。

特にグローバル補助金を使用した支援活動は今後継続してまいりたいと考えております。

ロータリー財団活動は、ますます専門職の強い活動と真価が要求される時代に成りつつあることは間違いのない事実でもあります。

ロータリー財団に更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。



ロータリー財団月間によせて



資金推進委員長 **朱宮新治**

1917年の財団創設以来プログラムも増加し、種類も多様で需要が高まってきております。そして財団への各種基金は様々な人道的、教育的プロジェクトを可能にしています。皆様からの寄付は、金額の大小にかかわらず世界中で多くのプログラムとプロジェクトに費やされており、人々の生活を向上し、世界中で平和の実現を目指し、相互理解を深めております。また財団は非営利財団で自発的な寄付のみによって支えられています。そして寄付に対しては、財団独自の資金サイクルの下で、受領された3年後に地区活動資金(DDF)・世界活動資金(WF)として還元され各種のプログラムの補助金として使用されています。更に3年間の周期で、地区に対してプログラムの計画、実施をサポートし、また財団がこの寄付を投資活用することも可能にしています。寄付には、年次プログラム基金、恒久基金、ポリオプラス基金などいくつかの方法があり、様々の種類の寄付を受け付けています。例えば、現金、証券、不動産、生命保険、などの形で寄付することができます。そして寄付に対して寄付者の認証があり、個人、クラブにそれぞれの形で認証が行われております。当地区としては、本年度も年次寄付1人当たり140ドル、ベネファクター各クラブ1名、大口寄付地区で5名の目標を掲げております。3年後に還元されますので毎年継続して寄付をお願いしていかなくてはなりません。寄付推進の必要性をご理解いただく為にも、地区の募金活動の設定と目標ための情報は無論のこと、クラブに助言と支援を提供し、クラブの意欲を高めていただきたいと思います。ご参考までに過去4年間の地区の寄付状況を下記に記載させていただきます。

(単位 ドル.)	1人当り	年次寄付額	使途指定寄付額	恒久基金額	合計金額
2007/2008年度	126.38.	641,127.	14,786.	76,200.	732,094.
2008/2009年度	134.09.	672,603.	81,761.	78,844.	833,209.
2009/2010年度	126.30.	621,646.	130,108.	74,311.	826,066.
2010/2011年度	144.61.	700,072.	124,301.	45,255.	898,728.



補助金委員長 **松尾憲二郎**

ロータリー財団委員会の中で補助金委員会は、各クラブが実施する人道的教育的プロジェクトに新地区補助金を支給する新地区補助金委員会とR財団が指定する重点6分野で比較的長期で大型の人道的プログラムに地区財団活動資金(DDF)の中のグローバル補助金と国際財団活動資金(WF)からの同額資金を組合せ高額の補助金を支給するグローバル補助金委員会とからなっています。

3年前の年次寄付金と恒久基金の利息の合計額を地区とR財団とが50%づつにシェアし、それぞれをDDFとWFといいます。DDFの50%未満が新地区補助金の、50%以上がグローバル補助金の資金枠となります。

パイロット地区になって2年目、今年度の新地区補助金は82RCの内63RCと国際親善奨学生派遣で計64のプロジェクトに支給され現在進行中です。グローバル補助金は今年度オーストラリア・パプアニューギニアの地区と「疾病予防と治療の分野」の職業研修(VTT)チームの受入と派遣のプロジェクトを行い、又現在クラブと地区委員会がそれぞれ1件のグローバル補助金プロジェクトを計画し、グローバル補助金委員会と打合せ協議の上でR財団に提案書の提出をいたしております。

補助金委員会は新地区補助金・グローバル補助金を利用したプロジェクトが各クラブ・地区委員会で活発に利用いただけるよう委員全員でバックアップを行ってまいります。



職業研修チーム(VTT)委員長 **鈴木文勝**

ロータリー財団創設第二世紀に向けて、R財団のプログラムが大きく変更され、新制度「Future Vision Plan 未来の夢計画」が二年目を迎えました。当地区はパイロット地区として、2013年7月からの世界全地区への移行に向けて三年間の試験的プログラムを実施しています。当委員会は、従来の研究グループ交換(GSE)委員会から職業研修チーム(以下VTTという)委員会に名を変え、重点6分野に的を絞ってより専門的職業研修に特化した医療チームを結成し、前年度は5890地区(米国テキサス州ヒューストン)のヒューストン・メディカルセンター内MDアンダーソンがんセンター、メソディスト・ホスピタルなど世界的に著名な医療機関に研修派遣し、グローバル補助金を利用した「日本初のVTTプロジェクト」を成功させました。関係各位の多大なるご支援ご協力に深甚なる感謝をさせて頂くと共に、VTT委員会の誇りとする所であり

ます。VTTプログラムは、DDFの新地区補助金を利用して実施することも出来ますが、当地区の方針で、DDFのグローバル補助金を利用して実施をする事になっています。これには、様々な制約条件がありますが、その中でも「重点6分野」に限ることが重要な条件であり、且つ、専門性を持った職業人チームが明確な目的を持ち、教えるか学ぶかによって、「持続的成果」につながる事を強く求められています。

本年度、VTT委員会は松前ガバナー、深谷ロータリー財団委員長のご指導を頂きながら、9600地区(オーストラリア クイーンズランド州の一部、パプアニューギニア ソロモン諸島)と、VTTプログラムの実施に向けて準備推進中です。前年度同様、医療チームを一ヶ月間派遣する予定(2012年3月~4月)ですが、同地区からも医療チームを当地区内の各医療機関(名古屋大学付属病院、名古屋市立大学病院、名古屋第二赤十字病院、愛知県がんセンター)に研修受入を計画しています。

先ずパイロット期間中は、重点6分野の中の「疾病予防と治療」に的を絞り、医療チームを結成してVTTプログラムを実施し、地域医療の発展向上を目指しつつ、ロータリーを中心とした医療連携ネットワークが形成され、国際的な医療奉仕活動に結び付けて行ける事を願っています。今後とも皆様のご指導ご鞭撻ご協力を宜しくお願い致します。

ロータリー財団月間によせて



奨学基金・学友委員長 **みつ だ みのる** 満 田 稔

2011～2012年度奨学基金・学友委員長を務めさせていただきます豊橋東ロータリークラブの満田稔です。ロータリークラブの皆さんのロータリー財団への持続した多額の寄付と、奨学生の募集を初めとする多岐に亘る諸活動の協力に大変に感謝しております。

2011～2012年度の活動は、第一にロータリー財団未来の夢計画パイロット地区としてグローバル補助金奨学金制度によるロータリー財団奨学生の募集と選考です。奨学金制度の目的は、他国の教育機関での勉学を通して、異なる国民間の理解と友好関係を増進するとともに、ロータリーの「未来の夢計画」の理念を表す6つの重点分野（1平和と紛争予防/紛争解決、2疾病予防と治療、3水と衛生設備、4母子の健康、5基本的教育と識字率向上、6経済と地域社会の発展）に貢献し、持続可能な成果をもたらすことにあります。

第二に奨学生対象にオリエンテーション、ガイダンス、壮行会を行い海外留学をスムーズに行なえる様に援助します。第三に学友会員による「中部名古屋みらいロータリークラブ」と連携して、奨学生修了者で構成される学友会（会員409名）の運営を支え会の充実を図ります。

以上の委員会活動につきまして、ロータリークラブの皆さんの心からなるご理解とご支援とご協力をお願い申し上げます。



ポリオプラス委員長 **ます だ もり ひで** 増 田 盛 英

皆さんご存知のようにポリオ撲滅は毎年のRI会長の重要テーマになっております。ロータリー100周年で撲滅を目指しましたが達成できませんでした。ポリオ撲滅は国際ロータリーの悲願であります。日本では既にポリオ撲滅はなされました。世界を見た時、現在ポリオは、インド・アフガニスタン・パキスタン・ナイジェリアの4カ国で撲滅できておりません。しかし、最近では再発している国もあると聞いております。この現象は常在国からの持ち込み感染で、ポリオ常在国の絶滅が果たされなければ地球上の絶滅はあり得ません。しかし4常在国のポリオ絶滅はロータリーのイニシアティブで目標に大きく向かっております。インドなどでは昨年、ただ1例の発症をみただけです。他の常在国も国家的プロジェクトとして絶滅にいま一歩のところまで来ています。

RI第2760地区R財団ポリオプラス委員会は今年度もポリオワクチン投与にインドへ参りたいと計画しております。'09～'10年度は磯部ポリオプラス委員長の計画で当地区の会員家族18名で、他の地区からあわせて34名で、'10～'11年度は大西委員長の計画で当地区から17名インドへ行ってまいりました。私も'10年1月に行ってまいりましたが、まん丸な目をしたあどけない子供たちの顔を見ながら投与する時に何ともいえない気持ちになります。きつときつと撲滅しなければならないと思いました。

来年2月頃になると思いますが、私たちと一緒にポリオワクチンの投与にインドへ是非出かけようではありませんか。多くの参加者をお待ちしております。近々ご案内を申し上げます。



ロータリー平和フェロウシップ委員長 **いし かわ まさ かず** 石 川 昌 和

昨年度よりスウェーデンの Upsala University がこのプログラムに参加したので、世界で7大学がこのプログラムに参加しセンターになりました。日本人の学生がICUのプログラムに参加するには特別な条件が入りますが、その他の大学では問題はありません。この奨学金プログラムはR財団が用意している他のプログラムより奨学生がロータリー財団と各地ロータリークラブにより直接支援されていることです。プログラムの終了後は全世界の平和プログラム卒業生と同じ仲間となり仕事上で常時横の連絡が出来ます。

RIとR財団は将来に渡り互恵関係を維持します。ぜひ2760地区より、今年度は各クラブ会長がこの素晴らしいプログラムに参加する学生を一人でも発掘するようPR活動を行う計画です。



ガバナー公式訪問報告書

開催日:2011年9月13日
会場:名古屋観光ホテル
名古屋ロータリークラブ

名古屋ロータリークラブ幹事 盛田 宏

9月13日(火)、松前ガバナー、長谷川地区幹事をお迎えし、懇談会ならびに例会を開催しました。

懇談会では、夏目会長より名古屋クラブの目標である会員純増2名の達成に努力する事や、例会を楽しむ為の卓話講師の充実について報告があり、ガバナーからはインターアクトクラブの活性化等についてのお話がありました。

例会の卓話では、DVDを使用され、RIテーマである「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」のご説明やガバナー方針である「会員増強とクラブの活性化」についてのお話があり、5,000名の目標を是非達成したいとの強いご決意を示されました。

短い時間ではありましたが、大変充実した例会となりました。有難うございました。



ガバナー公式訪問報告書

開催日:2011年9月14日
会場:名鉄ニューグランドホテル
名古屋名駅ロータリークラブ(ホスト)
名古屋西ロータリークラブ

名古屋名駅ロータリークラブ クラブ情報委員会 黒川益次

まだまだ残暑の残る中、松前ガバナーをお迎えして、名古屋西RC・名駅RCガバナー公式訪問合同例会が開催されました。例会前の会長幹事との懇談会に始まり、例会中のガバナー講話では松前ガバナーのロータリーにかける並々ならぬ思いがあふれ、DVDを駆使したお話に参加者は圧倒され続けました。国際協議会で学んだガバナーとしての心構え、今年度のRI会長テーマから派生した当地区のテーマの話と続き、重点項目の説明では老子の教えを引用され、最後には色紙に書かれた「笑門来福」を示され、人生の指針として笑いと歯の健康が大切だと締めくくられました。



ガバナー公式訪問報告書

開催日:2011年9月20日
会場:衣浦グランドホテル
高浜ロータリークラブ(ホスト)
碧南ロータリークラブ

高浜ロータリークラブ幹事 杉浦浩一

高浜ロータリークラブ、碧南ロータリークラブの共同開催による松前憲典ガバナー、長谷川正己地区幹事をお迎えしての懇談会、例会が行われました。台風15号が接近し悪天候の中開催されました。会長、幹事懇談会には高浜RC、碧南RCともに会長、幹事、副会長、会長エレクト、副幹事が出席しました。松前ガバナーからは松前年度の目標である会員増強(各クラブ純増2名)のお願いがありました。また、東日本大震災義援金に関する報告と追加の寄付について説明がありました。碧南RCからは義援金の具体的な使途、管理方法など質問が寄せられました。また安易な増強はRCの品位を損なうなど活発な意見交換がなされました。

例会の卓話は主にDVDで行われました。主にサンディエゴで行われた(国際協議会での)説明などが写真を利用しながら行われました。冗談を交えながら終始、和やかな雰囲気を出し松前ガバナーのおかげで大変楽しいガバナー公式訪問となりました。



ガバナー公式訪問報告書

開催日:2011年9月21日
会場:華山会館
渥美ロータリークラブ(ホスト)・田原ロータリークラブ
田原パシフィックロータリークラブ

渥美ロータリークラブ会長 間瀬祐一

台風15号の影響で前日より開催できるかどうか心配でしたが、会場の準備や食事のキャンセルを考えるとその方がリスクが大きく、開催に踏み切りました。

夕方には雷雨もしだいに治まり、当日欠席も若干ありましたが何とか行うことができました。

内容は、地区のテーマ「会員増強とクラブの活性化」について、①退会防止②女性会員及び若手会員の増強③30名以下のクラブの増強④クラブ会員の多様化の4項目の重要性と「社会貢献をする」「ゆったりとおおらかに生きる」の2つを重点目標とすることについてDVDを使ったメッセージをいただきました。また会長幹事会では長谷川地区幹事より地区委員会の現状や東北大震災に対する義捐金の使い道について説明を受けました。

懇親会は、年1回の3クラブ合同例会ということで和やかに会員相互の親睦を深めることができました。迷った末の開催でしたが、終わってみればやって良かったとの思いでご出席くださいました会員のみなさまに感謝を申し上げます。



ガバナー公式訪問報告書

開催日:2011年9月22日
 会場:ホテルルブラ王山
 名古屋東山ロータリークラブ(ホスト)・名古屋名東ロータリークラブ
 名古屋錦ロータリークラブ・名古屋葵ロータリークラブ

名古屋東山ロータリークラブ会長 谷村 茂

9月22日(木)に松前憲典ガバナー、長谷川正己地区幹事に依る公式訪問が行われました。今回の例会は東山RCがホストクラブとなり、名東RC、錦RCおよび葵RCを加えた4ロータリークラブの合同例会で、出席者は合計91名でした。

合同例会では各クラブ会長の挨拶、食事の後、いよいよガバナーの卓話となり、R1テーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広めるために」と共に地区テーマ「会員増強とクラブの活性化」が映像と話で説明があり、区内会員数5,000名の目標達成と老子から引用された人生の3期説における晩年30年での社会貢献の大切さを強調されました。



ガバナー公式訪問報告書

開催日:2011年9月27日
 会場:名古屋マリオットアソシアホテル
 名古屋清須ロータリークラブ(ホスト)
 稲沢ロータリークラブ・尾張中央ロータリークラブ

名古屋清須ロータリークラブ会長 中村 稔

名古屋清須RCがホストのもと稲沢RCと尾張中央RCの親子、孫の三クラブ合同にて松前ガバナー、松岡副幹事をマリオットアソシアホテルへお迎えした。

尚、先日の台風15号により、尾張中央RCのガバナー補佐訪問が中止となり、急遽、本日兼ねて、加藤勉ガバナー補佐の出席もあり一層盛り上がりのある会長幹事懇談会となった。

そして、松前ガバナーより会員増強策として1人1名の友人の誘い、婦人会等、熱心な増強の方法をご指導戴いた。

又、尾張中央の沖野会長が次期会長にP・P会長の予定等の報告、相談があり、我々クラブも会員層が少ないなか、大変参考になった。

第二部の合同例会に入り、松前ガバナーのRCの思い、そしてガバナーの研修風景、交流場面、活動状況、活動方針等がまとめられたDVDを参加者90名程が楽しく見入った。そして記念撮影を行い有意義なガバナー訪問であった。



ガバナー公式訪問報告書

開催日:2011年9月29日
 会場:名古屋クレストンホテル
 名古屋丸の内ロータリークラブ(ホスト)
 名古屋みなとロータリークラブ

名古屋丸の内ロータリークラブ幹事 松尾雄二郎

去る9月29日(木)親クラブである名古屋みなとロータリークラブと合同で松前ガバナー、長谷川地区幹事をお迎えして例会を開催致しました。

例会に先立ち両クラブの会長幹事との懇談会で、松前ガバナーは東北の震災復興のための更なる協力依頼、特に其々のクラブの会員増強の取り組みについて熱心に聞かれ、女性会員を含めた会員増強への思いを語って下さいました。

また例会においてはDVDを有効に使い、今年度のR1テーマの説明からガバナー方針である、増強と活性化・社会貢献、またトレードマークである大黒天の笑顔掲げられゆったりとおおらかに生きる心構えを伝えて頂きました。最後には職業奉仕の手本として自らのご職業である歯の役割で卓話を締めくくられました。

非常に有意義なガバナー公式訪問となりました事を両クラブを代表してお礼申し上げます。



ガバナー公式訪問報告書

開催日:2011年9月30日
 会場:ロイヤルスクエア平安殿
 西尾KIRARAロータリークラブ(ホスト)
 西尾ロータリークラブ・一色ロータリークラブ

西尾KIRARAロータリークラブ幹事 山本裕充

例会前の会長幹事懇談会には松前ガバナー、長谷川地区幹事その他、西尾ロータリークラブより田中ガバナーノミニーも参加して頂き、3クラブの現状等御指導頂き、地区に対する要望等もお聞き下さり、素晴らしい懇談会が持てました。例会では、3クラブ、8名の新会員紹介から始まり、ガバナー・ノミニー歓迎の挨拶と紹介をして頂き、卓話が始まりました。ご自身がサンディエゴの国際協議会に参加された際のDVDでは、R1の今年度のテーマや方針、そして地区テーマ『会員増強とクラブの活性化』を再確認することができました。また、当クラブの会長もガバナーと同じ歯科医である為に非常に親しく感じられたガバナー公式訪問でありました。





ガバナー公式訪問報告書

開催日:2011年10月5日

会場:ウエスティンナゴヤキャッスル
名古屋和合ロータリークラブ(ホスト)
名古屋守山ロータリークラブ

名古屋和合ロータリークラブ会長 天野清美

去る10月5日(水)は松前ガバナー・長谷川地区幹事・大口ガバナー補佐の公式訪問にあたり、森 藤左門会長をはじめとする名古屋守山RCの皆様と合同例会を開催致しました。

例会に先立ち、2クラブ会長・幹事懇談会が行われ両クラブの概要説明を求められ、それぞれ会員増強の取組み・主要事業等を会長から報告させて頂き、ガバナーより色々貴重なアドバイスと共に両クラブへのお褒めの言葉を頂き、和やかな雰囲気懇談会を終える事ができました。

例会では新会員入会セレモニーを和合・守山それぞれ1名に対して行い、終了後ガバナーと固い握手をされた事が強く印象に残りました。又、今回のようにDVDを使われ映像を活用して卓話をされた事はとても分かりやすく、ガバナーの思いが良く伝わり改めて地区テーマである『会員増強とクラブの活性化』をはじめ諸課題に取組む必要性を強く認識させて頂く事ができました。御指導有難うございました。



ガバナー公式訪問報告書

開催日:2011年10月7日

会場:蒲郡プリンスホテル
蒲郡ロータリークラブ(ホスト)
豊川宝飯ロータリークラブ

蒲郡ロータリークラブ幹事 酒井克嘉

去る10月7日(金)に蒲郡プリンスホテルにおいて、豊川宝飯ロータリークラブ・蒲郡ロータリークラブの合同例会としてガバナー訪問が開催されました。例会前に行われた会長幹事会においては、両クラブの本年度の活動方針についての説明をさせて頂き、クラブ運営について細やかなご助言を頂きました。また、会員増強、奉仕の哲学、四つのテスト、無私から超私の奉仕、研修の重要性等、多岐にわたるご指導を頂きました。

例会においては、ガバナーの温かいお人柄そのままに和やかに進行いたしました。R I テーマ、ガバナー方針について熱く語られる姿から、ロータリーにかける熱い情熱をひしひしと感じさせて頂きました。

松前ガバナー、長谷川地区幹事におかれましては、健康に留意されご活躍されることを会員一同心からお祈り申し上げます。



おしらせ

第1回環境保全委員長会議報告



まとめによる活動報告会の実施、環境情報の発信、東日本大震災被災地クラブの支援要請の情報発信を活動基本方針として82クラブのサポートをしております。

当日の環境保全委員長会議では第1部に愛知県自然環境課の丹羽課長に「生態系ネットワーク事業」の概要説明、第2部として私より刈谷ロータリークラブの「ロータリー森づくり」、豊田ロータリークラブの「トヨテツの森づくり」この2つの事業事例を報告させていただきました。最後には財団の深谷委員長



より「東日本大震災の復興支援」と題して報告をいただき、各クラブの復興支援をサポートする体制づくりの必要性を感じました。自然は時には人類を超えてまいります。これからのまちづくりは自然保護と経済成長を調和させていく事が当たり前の考え方になっていく成熟社会を目指していかなければなりません。



地区環境保全委員長 ^{すずきもとひろ} 鈴木元弘

COP10において採択された愛知ターゲットにより愛知県は本年度より「生態系ネットワーク事業」をスタートさせました。当委員会は「あいち自然環境保全戦略推進委員会」に参画し、この事業の情報を地区内クラブに発信してまいります。県内3か所のモデル地区の中で、刈谷RCと豊田RCの提案事業は「西三河生態系ネットワーク協議会」のモデル事業となるべく取り組んでいます。

本年度、当委員会ではこの「生態系ネットワーク事業」への参画、地区内クラブ環境保全活動の取り

おしらせ

国際ロータリー第2760地区

クラブ米山奨学委員長会議・米山奨学生・学友会(愛知)総会2011~2012指導教員を囲む会報告

日時: 2011年9月15日(木) 16:00~20:30 場所: ホテル キャッスルプラザ

過去にない、総勢219名の大変多数の参加を賜り、松前ガバナー、田中ガバナーノミニーを始め各分区のガバナー補佐の参加も頂き、地区から分区へ…分区から世話クラブの、会長、幹事さんを巻き込み、委員長、カウンセラー、奨学生、学友、そして、奨学生が日頃大変御世話になっています大学の指導教員の先生方17名にも特別に参加いただき、地区全体が一丸となって米山奨学事業の理解に努めた。

第二部は米山学友会(愛知)の第15回目の総会と奨学生・学友の計58名が加わり、第三部は、指導教員の先生方を囲みながら、和やかなムードや楽しい雰囲気の中で、盃をかわしながら、親睦をはかった。

米山奨学事業の価値はどんな奨学生を採用したかで決まるとも言われ、どんな奨学生に育てたか、育ててくれたかにかかっていますので、ロータリアンと奨学生の交流の中で、お互いに刺激しあう関係こそがこの事業の特長であり、それを実現させる制度が「世話クラブ・カウンセラー制度」と考えています。又、カウンセラーお一人にお任せするのではなく、奨学生、ロータリアン双方にとって、大きな感動を生む事業こそ、大先輩の皆様方が50年以上もかけて継続した、民間最大のロータリー精神の使命と考えています。

又、特別講師として、東京米山奨学会本部から、当2760地区の為にわざわざかけつけて頂きました、坂下事務局長並びに、名古屋産業大学菅井教授には心より厚く御礼申し上げます。



松前ガバナー



福田奨学会理事



学友会 林会長



会議風景



中島奨学委員長



指導教員と奨学生

2011-2012年度 国際ロータリー第2760地区
ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)
日本支部参加報告とご協力をお願い

本年8月8日、当2760地区はRLI国際本部の承認を得てRLI日本支部に参加しました。今後当地区はRLI日本支部を構成するとともに地区研修委員会のもとで、全てのロータリアンのロータリー活動に対するモチベーションを高めるために、そしてクラブ活動を活性化するために、RLIが国際的な基準で策定したプログラム及びカリキュラムに従って研修セミナー活動を行う予定です。

各クラブ会長を始めロータリアンの皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

本年度RLIの実施予定(末尾は参加対象者です。)

- | | |
|---------------------------------------|--------|
| 2011年12月4日(日)第一期RLI2760ディスカッションリーダー研修 | 地区研修委員 |
| 2012年1月22日(日)第一期RLI2760分科会研修パートI | 会長エレクト |
| 2月12日(日)第一期RLI2760分科会研修パートII | 会長エレクト |
| 5月27日(日)第一期RLI2760分科会研修パートIII | 会長エレクト |



ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)について

今、ロータリーの世界で最も注目すべきは、ロータリー創始後105年を経て社会構造も変化する、人や社会に対する意識が変わって来ていること。そのために世代間の意識や感覚に大きなギャップが生じ、社会や文化に対する相互の認識や価値観が異なってきていることです。

このような価値観の違いや矛盾を埋めるため、その要因である根本的な問題を認知し、ロータリー世界の理解を進めない限り、今後のロータリーの発展は望めないと思われます。

私たちは、本当にロータリーを理解しリーダーシップを持ったロータリアンとして活動するため、一人一人が自発的に自覚を持って「ロータリーの何たるか」を話し合っって積極的な活動を積み重ねていくことが肝要です。

「パートⅠ」

1. ロータリーにおけるリーダーシップ
2. クラブを超えたロータリー
3. 会員組織と会員維持(基礎編)
4. ロータリー財団(基礎編)
5. 米山記念奨学事業(基礎編)
6. ロータリーの効果的な奉仕プロジェクト

「パートⅡ」

1. 効果的な会合の持ち方とリーダーシップ
2. 職業奉仕、倫理感の高揚と実践
3. 会員増強と新会員勧誘(応用編)
4. ロータリー財団(応用編)
5. 米山記念奨学事業(応用編)
6. クラブ運営と評価

「パートⅢ」

1. 効果的なリーダーシップを発揮するための戦略
2. 世界平和への重要なステップ
3. 国際ロータリーのプログラム
4. 創造的な奉仕活動
5. 効果的な広報活動計画と実践
6. ロータリーの倫理規範

「卒後コース」

1. RI新長期計画
2. 財団の未来の夢計画
3. 変化するロータリーとRLI
4. リーダーシップとスピーチ
5. その他

RLIはロータリーの知識を学ぶだけでなく、ロータリーへの学び方自体を会得して、各ロータリアンのモチベーションを高め、結果的には自己開発と人間性の向上につながることを目的としています。



1841年、初代豊島半七が「綿屋半七」という屋号で繊維問屋を起したのが、豊島の始まりです。以来、百七十年の歴史の中で、時代の変化に応じて事業領域を拡充し、現在では原料・原糸から最終製品まで、総合的に取り扱う繊維商社として発展を遂げることができました。伝統から変革・発展へ。これからも、変化の激しいマーケットを冷静に捉え、そのニーズに熱意をもってチャレンジしつづけることが、私たちの使命だと考えます。

▲ 豊島株式会社

本店 一宮市せんい2丁目5番11号 0586-76-7561
名古屋本社 名古屋市中区錦2丁目15番15号 052-204-7711
東京本社 東京都中央区日本橋富沢町9番10号 03-3661-1070
浜松支店 浜松市中区砂山町335番地4 053-454-4131



情熱。

総合建築・鉄骨工事・リース建物 名古屋建商株式会社

代表取締役 千田 毅

営業所 名古屋市千種区今池南29番23号
TEL (052) 733-0666代

工場 小牧市藤島字居屋敷24
TEL (0568) 77-7538

生涯を通じて美味しく食べよう！

健康は口から
歯を大切に

森 歯科医院

森 榮

まごころと笑顔 やすらぎと癒しをお届けしております
パーティー・ウェディング・イベント・セレモニー等の司会者・人材の派遣・企画運営

(株)日本バンケットプロモーション

厚生労働大臣許可 (般23-02-0483)

国際ロータリー第2760地区
2011-2012年度 地区RCC委員会
委員長 松崎 美都子
名古屋守山ロータリークラブ所属

〒450-0002
名古屋市中村区名駅3-9-13
TEL052-562-1311 FAX052-562-1312
E-mail info@nbpro.co.jp

人材派遣業 株式会社 プラスワン

代表取締役 加藤 恭章

〒491-0354 愛知県一宮市萩原町朝宮744番地
TEL (0586) 68-5314
FAX (0586) 69-5990

一般・業務用パン製造販売
愛知県学校給食パン・米飯委託工場

株式会社 東海パン

代表取締役 長谷川 正己

〒491-0005 愛知県一宮市西大海道字宅美8番地
電話 (0586) 77-3230

文庫通信 289号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会等の記録から

- | | |
|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| ◎「有田の伝統を語る(対談)」
14代酒井田柿右衛門 2011 7p (D.2740) | ◎「日本のこれから、日本人のこれから」
藤原正彦〔2011〕16p (D.2530) |
| ◎「夢を創る」
安藤忠雄 2011 4p (D.2580) | ◎「アジア大交流時代の幕開けと日本人」
浜田和幸 2011 7p (D.2560) |
| ◎「一隅を照らす」
半田孝淳天台座主 2011 6p (D.2600) | ◎「ソフトパワー大国を目指して～山形からの可能性」
結城章夫〔2011〕7p (D.2800) |
| ◎「遺言書を書いて千日回峰行」
上原行照師大阿闍梨 2011 5p (D.2600) | ◎「CO2貯留研究の現状と課題」
村井重夫〔2011〕12p (D.2800) |
| ◎「いくつもの壁にぶつかりながら『19歳・児童売春撲滅への挑戦』」
村田早耶香 2011 4p (D.2780) | |

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



ハイライトよねやま 139

1. 寄付金速報 — 10月は米山月間 —

9月までの寄付金は前年同期と比べて6.7%減、約2,400万円減少の3億3,500万円となりました。普通寄付金が1.7%減、特別寄付金が13.4%減と、出足の悪かった普通寄付金が前年度並みに戻りつつあります。

2. GETSで米山奨学事業を紹介

9月8日に都内で開催されたガバナーエレクト研修セミナーで、板橋敏雄理事長と坂下事務局長が40分間、米山記念奨学事業の現況説明を行いました。また、配偶者プログラムでは、DVD「すばらしい贈り物」12分版を上映後、米山学友2人がスピーチをしました。

3. 台風被災地でボランティア活動 — 第2640地区 —

台風12号によって、大きな被害の出た第2640地区（大阪府南部・和歌山県）。「現地で少しでも役立ちたい」と同地区学友会から声が挙がり、9月24・25日の2日間、奨学生10人と地区米山委員会メンバーら9人が被災地に赴き、浸水した家屋のふき掃除や家財の運び出しなどのボランティア活動を行いました。

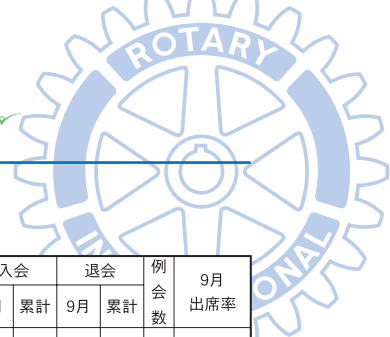
4. 10年の絆を育んで — ジャンチブ・ガルバドラッハさん —

10月7日、山形市内のホテルで「モンゴル国際フォーラム」（主催：山形北RC）が開かれ、かつて山形北RCの米山奨学生だったジャンチブ・ガルバドラッハさんと、彼が母国に設立した「新モンゴル高校」の卒業生8人が、それぞれの夢や日本の留学生生活を語りました。

ハイライトよねやま

検索

URL: <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>



会員数及び出席報告 (平成23年9月末)

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月女性	入会		退会		例 会 数	9月 出席率
		2011年 7月1日	2011年 7/1女性	2011年 9月末日		9月	累計	9月	累計		
南尾張 分 区	半田	65	3	66	3	0	1	0	0	5	98.99%
	常滑	45	0	46	0	0	1	0	0	4	92.67%
	東海	49	2	52	2	0	4	1	1	3	96.79%
	東知多	23	1	23	1	0	0	0	0	5	86.36%
	半田南	43	1	44	2	0	1	0	0	3	96.95%
	知多	23	0	22	0	0	0	0	1	3	90.91%
	大府	17	2	17	2	0	0	0	0	4	88.33%
	7RC	265	9	270	10	0	7	1	2		93.00%
	西尾張 分 区	一宮	85	0	90	0	1	6	0	1	5
津島		73	4	73	4	0	1	0	1	4	99.24%
尾西		22	1	22	1	0	0	0	0	3	90.91%
一宮北		38	0	38	0	0	0	0	0	4	96.96%
稲沢		53	0	53	0	0	0	0	0	3	91.77%
あま		81	1	82	1	1	2	0	1	3	96.77%
名古屋清須		37	1	36	0	0	0	0	1	4	85.83%
尾張中央		32	0	34	0	0	2	0	0	3	85.69%
一宮中央		49	8	48	7	0	0	0	1	4	92.71%
9RC		470	15	476	13	2	11	0	5		93.12%
東尾張 分 区	瀬戸	57	3	60	3	0	3	0	0	3	99.43%
	犬山	69	0	69	0	0	0	0	0	4	98.05%
	江南	49	2	50	2	1	1	0	0	4	93.54%
	小牧	36	2	37	2	0	1	0	0	4	94.20%
	春日井	49	3	51	3	0	2	0	0	4	96.57%
	尾張旭	29	2	30	2	0	1	0	0	4	99.17%
	名古屋空港	50	1	50	1	0	0	0	0	3	98.61%
	瀬戸北	70	7	71	7	0	1	0	0	4	100.00%
	岩倉	18	2	18	2	0	0	0	0	4	98.61%
	名古屋城北	32	3	32	3	0	0	0	0	4	99.17%
愛知長久手	23	4	23	4	0	0	0	0	4	94.10%	
11RC	482	29	491	29	1	9	0	0		97.40%	
西名古 屋 分 区	名古屋	177	0	190	0	1	13	0	0	4	90.90%
	名古屋西	98	0	102	0	0	5	1	1	4	89.91%
	名古屋南	120	0	122	0	1	2	0	0	3	93.77%
	名古屋みなと	71	0	73	0	2	2	0	0	4	95.89%
	名古屋東南	76	9	81	9	1	5	0	0	3	88.53%
	名古屋中	129	0	132	0	1	3	0	0	3	96.46%
	名古屋瑞穂	63	0	67	0	0	4	0	0	5	95.85%
	名古屋大須	59	4	59	4	0	2	0	2	5	91.70%
	名古屋栄	81	0	81	0	0	0	0	0	3	95.71%
	名古屋名南	59	6	61	6	0	2	0	0	3	92.15%
名古屋名駅	79	6	87	6	1	8	0	0	3	98.45%	
名古屋丸の内	45	4	45	4	0	1	0	1	5	95.14%	
中部名古屋みらい	28	9	28	9	0	0	0	0	4	50.00%	
13RC	1,085	38	1,128	38	7	47	1	4		90.34%	

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月女性	入会		退会		例 会 数	9月 出席率
		2011年 7月1日	2011年 7/1女性	2011年 9月末日		9月	累計	9月	累計		
東名古 屋 分 区	名古屋北	87	0	88	0	1	2	1	1	4	98.94%
	名古屋東	88	0	89	0	0	1	0	0	3	90.86%
	名古屋守山	48	3	53	3	1	5	0	0	3	90.66%
	名古屋和合	99	0	100	0	1	2	1	1	3	90.82%
	名古屋名東	58	8	59	8	0	1	0	0	3	96.08%
	名古屋名北	38	4	38	4	0	0	0	0	3	97.22%
	名古屋千種	42	3	42	3	0	0	0	0	4	95.69%
	名古屋昭和	47	0	47	0	0	0	0	0	3	82.83%
	名古屋錦	30	8	31	8	1	1	0	0	4	95.86%
	名古屋東山	36	3	37	3	0	1	0	0	4	93.06%
名古屋葵	25	0	25	0	0	0	0	0	5	75.20%	
11RC	598	29	609	29	4	13	2	2		91.57%	
東三河 分 区	豊橋	120	3	121	3	2	2	1	1	5	93.12%
	蒲郡	57	0	59	0	0	2	0	0	4	90.01%
	豊橋北	82	5	83	5	0	2	1	1	4	95.26%
	豊川	70	1	70	1	0	0	0	0	4	95.21%
	田原	46	2	46	2	0	1	0	1	5	89.00%
	豊橋南	62	0	62	0	0	0	0	0	3	96.83%
	新城	49	0	49	0	0	0	0	0	4	91.35%
	渥美	27	0	32	0	0	5	0	0	4	75.83%
	奥三河	16	3	15	3	0	0	0	1	4	89.29%
	豊川宝飯	55	3	56	3	1	1	0	0	4	95.15%
豊橋ゴールデン	63	0	63	0	0	0	0	0	4	93.22%	
田原パシフィック	55	1	57	2	0	3	0	1	4	90.09%	
豊橋東	40	0	40	0	0	0	0	0	4	92.40%	
13RC	742	18	753	19	3	16	2	5		91.29%	
西三河 中 分 区	岡崎	88	2	94	2	1	6	0	0	4	100.00%
	豊田	80	0	85	0	0	5	0	0	4	99.07%
	岡崎南	94	2	96	2	0	3	0	1	4	98.53%
	豊田西	101	0	101	0	1	1	0	1	3	98.20%
	岡崎東	62	0	61	0	0	1	1	2	4	96.54%
	豊田東	75	0	77	0	1	2	0	0	4	97.87%
	岡崎城南	71	0	73	0	2	2	0	0	4	95.21%
	豊田三好	20	1	21	1	0	1	0	0	3	93.65%
	豊田中	42	6	44	6	0	2	0	0	3	97.69%
	9RC	633	11	652	11	5	23	1	4		97.42%
西三河 分 区	刈谷	89	4	91	4	0	2	0	0	3	100.00%
	安城	53	2	56	2	0	3	0	0	4	92.56%
	西尾	76	1	76	2	0	1	0	1	4	100.00%
	碧南	69	3	71	3	0	2	0	0	4	99.22%
	一色	32	0	32	0	0	1	0	1	4	100.00%
	高浜	34	2	34	2	0	0	0	0	3	100.00%
	知立	61	0	61	0	0	0	0	0	4	99.12%
	西尾KIRARA	58	0	58	0	1	1	0	1	4	100.00%
	三河安城	62	6	62	6	0	0	0	0	4	95.52%
	9RC	534	18	541	19	1	10	0	3		98.49%

	クラブ	平均
平均出席率	82	94.08%

地区内クラブ数 82RC	2011年 7月1日会員数	4,809名	内女性 167名	増加会員数(累計)	136名
	9月末会員数	4,920名	内女性 168名	減少会員数(累計)	25名
	9月平均出席率	94.08%		差引純増会員数(累計)	111名

9月	入会	退会	純増
	23名	7名	16名

